

「防犯意識」で変える未来

山口県周南市立岐陽中学校 2年

河本 咲心



テレビのニュース番組で、犯罪の話が出ない日はありません。特に、私は子供や高齢者がねらわれる事件に心が痛みます。もし、その事件に自分や家族が巻き込まれていたらと考えると、本当に怖くなります。そこで私は、当たり前で分かっていると思っている「防犯」について、今一度考えてみることにしました。

私たちは、毎日多くの人たちのおかげで安全に生活することができています。周りの大人や市民の安全を守る警察等の人たちに任せきりにするのではなく、自分自身でも気を付けることが大切だと思います。

我が家には、「なるべく一人では外出しない」という暗黙のルールがあります。他の人から見れば、少し過保護に思われるかもしれませんが、弟が一人で登校する時や、私たちが塾へ行く時は、必ず母が送り迎えをしてくれます。私が「一人でも大丈夫だよ。」と言っても「何かあってからでは遅いから。」と言って、家事の手を止めて私たちに付き合ってくれています。

私も中学生になってからは、友達と出かける機会も増えてきたので、一人で行動することもあります。そんな時は携帯電話で連絡を取り合い、なるべく人通りの多い道を選び、帰宅時刻を守るように心がけています。私の防犯の第一歩は、家族との約束を守り、心配をかけないことだと思っています。それが、自分自身の身を守ることに繋がっていると思うからです。

もう一つ、私がこれから気を付けていかなければいけないことは、携帯電話の使い方です。今は、通話とメールしか使っていませんが、SNS等の問題は、とても怖いものです。自分の知らない所で、何が真実か分からないまま、言葉や映像だけが一人歩きをしたり、個人情報がいっしょに流れたりすることは、考えただけでも不安でいっぱいになります。携帯電話の使い方については、これからもっと勉強して、自分や人を傷つけることがないようにしたいと思います。

高齢者がねらわれる事件は、やはり詐欺に係わるものが一番多いと思います。毎日のように詐欺について、いろいろ報道されているのに、どうしてだまされてしまうのか、私は不思議です。オレオレ詐欺・架空料金請求詐欺・還付金詐欺・投資詐欺等、次から次へと新しい手段の詐欺があるそうです。「自分だけは大丈夫」と思っている人ほど、だまされやすいという話も聞きます。被害総額は、何千億円にもものぼるそうです。

振り込みをしようとしていた高齢者を銀行やコンビニの人が声かけをして、救ったというニュースを聞いたことがあります。芸人の弟さん（コンビニの店長）が、何回も詐欺から救って、警察から表彰されたというニュースも話題になりました。「早く振り込まなければ」とあせっている人に、冷静になるよう一声かけてあげる人が、そばにすることが大切なんだなと思いました。一人暮らしの高齢者が増えている現代では、詐欺のことを頭では十分わかっていても、いざ自分のこととなると、巻き込まれてしまう例が多いので、離れて暮らしている家族と定期的に連絡を取り合ったり、近くに何でも相談できる人を作ったりしておくことが、とても大切になると思います。

先日、私の祖父母の家に、不思議な電話がかかってきたそうです。聞いたことのない社名を名乗って、電話に出た祖父にあれこれ話しかけ、最終的には祖母の年齢まで聞き出されたそうです。その話を聞いた祖母は、「安易に知らない相手に個人情報教えるものではないでしょ。」と怒っていました。私もこの件については、祖母が正しいと思いました。

どこに犯罪の芽が潜んでいるか分からない今の世の中では、残念なことではありますが、物事を疑ってかかるのも、自分自身の身を守るための一つの手段だと思います。

「防犯」を意識して生活することは、自分を守ることだけでなく、周りの人たちを守ることにもつながります。

私たちが危ないと感じたことを、周囲の大人に伝えたり、困っている人を見かけたら、声をかけたりすることも、「防犯」の一つだと思います。

これからも私は、「自分の身は、自分で守る」という意識を持ち、日頃から危険を予防する行動を心がけたいと思います。そして、少しでも、今より安心して暮らせる世の中をつくるために、みんなで「防犯」について考えていくことが大切だと思います。

犯罪のニュースが、少しでも減っていくことを願っています。